

**行財政・一般**

**すり替えられた  
市庁舎建設地選定要件**

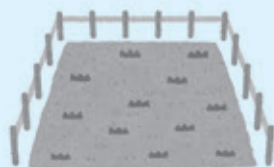


神近 寛 議員

市庁舎の建設地選定要件として当初議会に示されていた「まちづくり拠点性」は知らぬ間に削除され「早期実現性」に代わってしまった。これは、基本構想にも準じる重要な案件であり、秘密裏に変更するなど、信じがたい行為である。行政の都合に合わせて要件を変更したと言わざるを得ないため、経過の説明を求める。

**答**

まちづくりの視点に関しては、立地適正化計画の策定作業を進める中で、検討している区域がその中に含まれているということから、新庁舎建設地の選定要件から外した。



**行財政・一般**

**あまりに乱暴な  
新庁舎建設単価説明**



城 幸太郎 議員

平成29年6月議会で示されていた建設費80億円が100億円に増額になった。議会や市民説明会では、消費税率引き上げや人件費、資材費の高騰を理由に、建設単価を先行自治体の平均額44万円/㎡を大幅に上回る50万円に設定したと説明されたが、消費税のアップ分は8,800円であり、残りの金額の説明があまりにも乱暴である。市長が議員の立場であったら厳しく追及すると思うがどうか。

**答**

市長である私も、議員の立場であったら追及すると思うからこそ、50万円/㎡で算出している。新庁舎建設を進めていく中で、何度も事業費が膨れ上がっていくと説明がつかないため、上振れ部分まで見積もった上で、建設単価を50万円/㎡としている。



**行財政・一般**

**出張所の受付窓口について**



井上 潤一 議員

各出張所は地域住民の拠り所であり、住民のための行政の最前線であるが、「出張所の受付窓口はガラスで囲まれ、まるで刑務所で面会しているようだ、改善できないか」との声があった。窓口では証明書の手数料、税金等の金銭を取り扱うため、防犯上設置されたと思うが、銀行や郵便局でもカウンターだけである。ガラスの仕切り板の撤去はできないか。

**答**

出張所の窓口では、各種証明書の発行や税金、上下水道料金などの収納を行っており、相当の金額を預かることもある。配置職員数が少なく、カウンターに職員が常駐できない場合もあり、防犯対策上、ガラスの仕切り板を設置しており、撤去は難しいと考えている。今後も、お客様に不快感を持たれないような環境づくりに努めたい。

**行財政・一般**

**市庁舎建設計画は  
見直すべき!**



村崎 浩史 議員

市庁舎建設計画は当初の計画から大きく変更され、未熟であり、拙速である。市長はこの責任をどのように考えているのか。また、計画変更に至る過程や、市内部検討委員会の議事録を公表するべきではないか。8月に予定している臨時議会で、仮に設計予算が否決されたら、市長はどう受け止めるか。ゼロベースで見直すべきである。

**答**

当初説明していた事業費80億円は平成25年時点の見込みであることや、国からの交付金18億円が前後する可能性を説明しなかったことは、全て市長である私の責任と力不足である。また、変更に至る経過については、公表していきたいと考えているが、市内部検討委員会の議事録について、公表は考えていない。仮に8月の臨時議会で否決されたとしても、早急に建設できる方法と、交付金を活用できるスケジュールで進めていくことに再度挑戦したい。